

◆ 総 括

フォーラムリーダー 大沼文雄君

熱心にロータリーの諸問題につき討議をしていただいたことを感謝します。途中で眠気覚めに体操をやる予定でしたが、その必要もありませんでした。これでフォーラムを終らせていただきますが、西行法師の「何事のおわしますかは知らねども、恭なさに涙こぼるる」の気持です。有難うございました。

◆ 講 評

ガバナー 嵯峨義氏

長時間お疲れのところを頑張つていただきまして、感謝にたえません。私が申し上げなければならぬ問題点がありますので、二三述べて講評にかえます。

1. クラブ活動に如何にして全会員を参加せしめるか、そのためには各委員会の運営にあたる理事会は如何にするか、その辺が問題だと思ひます。
2. 他の奉仕クラブとの協力問題ですが、ロータリーは寄付団体でも慈善団体でもありません。具体的には「手続要覧」の37ページをお読み下さつて、クラブのフォーラムで御研究願えたらよいと思ひます。
3. ロータリーインフォメーションの一番大切なことは、新入会員に対し、情報委員を始め諸先輩が、如何にして良き人間関係をつくるかということです。人間関係が無ければ情報も流れません。従つて皆様方は、ロータリアンとして、最も人間的で、最も友愛的な、魅力ある人でなければなりません。
4. 網走は出席率の非常に良いクラブです。そこではある月を目標に100%の出席をやつてみたのです。達成後にも、この後もとの気持が残りました。これは参考にしてよいでしょう。
5. 皆様方のクラブは、勿論国際性は持ちますが、先ず地球上にただ一つの、地域社会にあるただ一つのクラブであると考え、自分の地域社会が良くなるより努力して下さい。先ず足元を大事にして下さい。
6. 釧路お小樽でも問題として採り上げられ、悩んでいますが、現代にあてはまるように現在あるクラブを一度統合し、合理的に再編成する必要があるようです。私はこの問題を岡田ガバナーノミニに依頼してありますが、許されるかどうかはR.I.の委員会に提出してからです。
7. 次期のフォーラムを森クラブにお願いします。

◆ 次期ホストクラブ会長挨拶

森R.C.会長 山科雄平君

◆ 閉会の辞

フォーラム委員長 新善次君

◆ 斉 唱 “それでこそロータリー”

◆ 懇 親 会

17時30分より19時30分まで「函館ロイヤル」にて盛大且つ楽しく行なわれ、予定された酒量を遙かにこえたとのこと。



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算第113号

1965~1966~6~1

函館北ロータリークラブ

第100回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

本日のプログラム

会員卓話 “北海道農業” 飯田神生君

◆ 司 会 遠藤会長

◆ 斉 唱 君が代 奉仕の理想

◆ ビジター 高野源蔵君(札幌R.C. 水産物加工)

谷 義一君(森R.C. 電気工事)

梅津福次郎君他9名(函館 R.C.)

山口 敬三君他7名(函館東R.C.)

◆ 会長挨拶

過日行なわれたインターシティ・ゼネラル・フォーラムは、皆様方の御努力により大過なく実施することが出来ました。有難うございました。

本日は当クラブの第100回例会で、出席100%が悲願でしたが、幸にして達成出来そうです。

◆ 幹事報告

本日例会終了后理事会を行ないます。

◆ ニコニコ・ボツクス

1. 御結婚記念日おめでとございます。

遠藤君(4日) 深瀬君(7日) 杉本君(8日)

2. 奥様の御誕生日お祝い申し上げます。

水上君(2日) 高田君(11日) 野村君(15日)

◆ 出席報告

1. 本日 会員数31名 出席23名

2. 先週の確定出席率 96.77%

会員数31名 出席24名 他クラブ出席6名 計30名

3. 他クラブの状況

19日函館クラブ 93.52%

24日函館東クラブ 94.59%



通算才114号

1965~1966-6-8

函館北ロータリークラブ

第101回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

本日のプログラム

卓話 北クラブの創立記念日に因んで、函館東RC 富田 恭氏

- 司会 遠藤会長
- 斉唱 手に手つないで
- ビジター 佐藤平吉君(酒田R.C 酒造業)
- 岡田小治君(士別R.C. 酒類販売)
- 西野悌二君他7名(函館) 安田幸夫君他5名(函館東)

会長挨拶

100回例会を記念して出席100%をやりたかつたが、御病気の会員が出て惜しくも達成出来ませんでした。昨年4月号の「ロータリーの友」に、従来最低の出席率であった藤岡R.C.が月間100%の快挙をやり、355地区吉野ガバナーに「成せば成る」と言わしめた記事がのつていました。当クラブは最近非常に出席が良くなつて来ているので、無理に「成さ」ずとも、やがて自然に100%出席が達成出来るであらうと思つています。

幹事報告

クラブ創立2周年を記念して、16日午後5時30分より「入川」でクラブアソシエーション及び懇親会を行ないます。奮つて御参加下さい。

会員卓話

北海道の農業、飯田 神生君

- 自然条件 本道の面積は790万haで、我が国総面積の21%を占める気候は温帯の北限にあり、冬は大陸の寒冷な北西季節風が吹き、夏は北大平洋の温暖な南東季節風が流入し、寒暑の差が著しい。農牧適地は330万haあり、そのうち3割は普通土として生産力が高いが、他は所謂特殊土壤で、最も多いのが火山灰土、次いで重粘土、泥炭土である。地形的には畑地の50%は傾斜地で、今後の開発によりその利用が増大されよう。
- 耕地面積 本道農業は165万haを経営用地として利用しているが、実際の耕地面積は水田24万ha 畑72万5千haで、最近水田が増加し、畑が減少の傾向にある。耕地率は21%で全国平均より5%低い。
- 農家戸数 21万戸で本道総戸数の20%を占めるが、昭和30年より約11%減少している。経営規模別では3~5haの階層が最も多く、又專業

卓話 "奇遇談" 俣野 純夫 君

世の中は広いようで狭いものです。私が出つた「奇遇」のお話をします。まづ私が昭和16年軍医として召集され、ハルビンに行きました時に、そこでも湯の川に居た五郎という芸者に会いました。

次に話とびますが、先日早朝のラジオの「地方だより」のアナウンサーの声が聞き覚えがあると思ひましたら、数年前函館放送局に居られて御世話になつた矢田氏で、はからずも声で御無事を知りました。

昭和19年3月にモンゴル国境のハロンアルシオンに派遣され、4日もかかつてガラ空きの汽車で大興安嶺をこえて行きました。

ここには温泉がいくつもあり、その名も「鹿の湯」といふのがありました。

ここで出迎えてくれた在郷軍人会長が額の火傷のあとで見覚えのある郷里の中学の2年先輩の牧という方で、早速その夜御宅で御世話になりました。

この部隊は南方へ転じたあとで人数も少く、部隊の身体検査に行つた時副官の少尉が鱧の燻製を御馳走してくれました。

珍らしいのできいて見ると、私の函館高等水産の校医時代の学生でした。

更に陸軍病院に申告に行くと、院長が以前函館の重砲大隊の軍医で、その縁で数日この病院で診療をやり、腰椎穿刺で名声を博したりしました。

いよいよ帰還する時コロ島で入港して来たのが鹿児島から来た駆逐艦で、郷里の状況など知ることが出来、一安心しました。

LST船に医療班長として乗船した所、船医が居ないので代理をすることになり、久しぶりで鯛の塩焼にありつきました。それはこの船の司厨長が宇賀浦の出身の人だつた為で、函館の様子も聞くことが出来、更に安心しました。

最後に船が山口県仙崎に入つた時、検疫官が先月まで函館検疫所に居たという事で、検疫も適当にしてもらい早々に上陸出来た次第でした。

追加発表 堀 数馬 君

只今の俣野先生のお話は遠い満洲での事でしたが私の奇遇は当クラブが舞台です。

私は昨年の3月に入会させて頂き、その7月に恵山で家族会があつた時宴たけなわの頃青柳会員が私に向つて「君はどこかで会つた事がある。」と言ひ出しました。

私には少しも覚えがありませんでしたが、色々話し合つてみましたらなんと30年以上も会はなかつた東京の中学の同級生で、お互におどろきました。

次回(6月15日)のプログラム

卓話 「函館北クラブの創立記念日に因んで」

函館東R、C、 富田 恭 君